

修繕工事簡易競争入札 工事概要書

工 事 名	用水路修繕工事（その16）		
工 事 箇 所	直方市 大字永満寺（別紙 位置図）		
工 事 期 間	令和8年2月13日	から	令和8年3月25日 まで 41 日間
設 計 額	金 1,700,600 円也		
予 定 価 格（税 抜）	金 1,546,000 円也		
入 札 書 提 出 期 日	令和8年2月10日		
担 当 部 署	土木課 農業土木係		
工 事 概 要	浚渫工 V=22m <sup>3</sup> 目地補修工 U450 L=35m・U300 L=45m・U240 L=40m 用水管布設工 L=20m 側溝蓋取替工 N=1箇所 排水柵補修工 N=1箇所 溜柵補修工 N=1式 法面整形工 A=420m <sup>2</sup> 管理道整備工 L=40m 用水路補修工 L=2m 残土処理 V=22m <sup>3</sup> 塵芥処理 N=1式		

令和 7 年度

公 共 事 業

用水路修繕工事（その16）

仕 様 書

工事箇所 直方市 大字永満寺

---

直方市  
監督員  
尾中 輝利

## 特記仕様書

1. 浚渫工の堆積物の処理処分地は任意とする。
  - 1) 処理処分場の選定後は「発生土処分地計画書」を提出し発注者の承認を得ること。施工後は「発生土処分地確認書」を発注担当者に提出するものとする。
  - 2) 搬出先の確認写真を発注担当者に提出すること。
2. 目地補修工・ひび割れ補修工について以下の点に留意すること。
  - 1) 用水路の維持管理(清掃等)に支障がなく、又性能を確保できる構造でなければならない。
  - 2) 施工では、既設目地をはつり、確実に除去した後、発注者の立会いのもと現地確認を行うこと。目地材不足によるピンホール等に注意し、均一な品質施工を行なうこと。
  - 3) 目地材の攪拌状況および練上がりの状態確認を行い施工を行うこと。
  - 4) 目地充填前には、目地充填部を金ブラシ等でよく清掃を行い、目地材との接合部を良好に保ち施工を行うこと。
  - 5) 施工では、目地材充填にはコテ等を用いて良く充填を行うこと。また、仕上げについてもコテを用いて仕上げること。
  - 6) 目地補修材はタフエースおよび同等品以上とし、施工前に使用材料の検収を実施し、発注者の承認を得ること。
  - 7) 施工完了後は空体確認を実施し発注者の確認を得ること。
3. 本工事は農業用の水路であり、取水、排水に関して条件が異なり、維持管理上の観点から地元水利組合および発注担当者と十分協議し実施すること。また、令和8年3月23日までに現場の施工を完了することとする。
4. その他関係法令を遵守すること。

## 工 事 設 計 書

工 事 名	用水路修繕工事（その16）
工 事 箇 所	直方市 大字永満寺
工 事 期 間	令和 8 年 2 月 13 日 から 令和 8 年 3 月 25 日 41 日間
工 事 費	金 円也
工 事 概 要	<div>浚渫工 <math>V=22\text{m}^3</math></div> <div>目地補修工 U450 L=35m</div> <div>U300 L=45m</div> <div>U240 L=40m</div> <div>用水管布設工 L=20m</div> <div>側溝蓋取替工 N=1箇所</div> <div>排水柵補修工 N=1箇所</div> <div>溜柵補修工 N=1式</div> <div>法面整形工 <math>A=420\text{m}^2</math></div> <div>管理道整備工 L=40m</div> <div>用水路補修工 L=2m</div> <div>残土処理 <math>V=22\text{m}^3</math></div> <div>塵芥処理 N=1式</div>

本工事費内訳書					
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
【単独】全工種01	1	式			
浚渫工	1	式			
浚渫工（人力＋機械）	22	m3			単 1 号
目地補修工	1	式			
目地補修工 U450 L=600	35	m			単 2 号
目地補修工 U300L=600	45	m			単 3 号
目地補修工 U240L=600	40	m			単 4 号
用水管布設工	1	式			
用水管埋設 塩ビ管 φ 150	20	m			単 5 号
塩ビ製ゲート設置 φ 150	1	箇所			単 6 号
側溝蓋取替工	1	式			
側溝蓋設置 U360L=600	1	箇所			単 7 号
排水桝補修工	1	式			
排水桝補修	1	箇所			単 8 号
溜桝補修工	1	式			
溜桝補修 浚渫・撤去・処分含	1	式			単 9 号
法面整形工	1	式			
法面整形	400	m2			単 10 号
法面整形 張りコンクリート・土のう設置含	20	m2			単 11 号

本工事費内訳書					
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
管理道整備工	1	式			
管理道整備 人力運搬	40	m			単 12 号
用水路補修工	1	式			
用水路補修 U450 側溝取替	2	m			単 13 号
アングル取付工	1	箇所			単 14 号
処理工	1	式			
残土処分 積込運搬+整地	22	m3			単 15 号
塵芥処理	1	式			単 16 号
直接工事費計					
共通仮設費計	1	式			
共通仮設費(率化)	1	式			
共通仮設費率分	1	式			
純工事費	1	式			
現場管理費	1	式			
工事原価	1	式			
一般管理費等	1	式			
工事価格	1	式			
消費税等相当額	1	式			
合計					

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]



## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]



## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

## 用水路修繕工事（その16）

[illegible]

# 数 量 計 算 表 ー1

## 用水路修繕工事(その16)

名 称	形状・寸法	算 式	数 量	単位
-----	-------	-----	-----	----

## 浚渫工(土砂)

浚渫工(土砂) 人力+機械	1・3工区	1工区 3工区 1.1 × 21.0 ×	合計 = 22.1	= 22.0	m <sup>3</sup>
	1工区	0.5 × 0.1 × 25.0	= 1.1	= 1.1	m <sup>3</sup>
	3工区	0.5 × 0.3 × 200.0 × 0.7	= 21.0	= 21.0	m <sup>3</sup>

## 目地補修工

U450 L=600	1工区	35.0	= 35.0	= 35.0	m
U300 L=600	5工区	45.0	= 45.0	= 45.0	m
U240 L=600	4工区	40.0	= 40.0	= 40.0	m

## 用水管布設工

用水管理設 塩ビ管 φ150	2工区	20.0	= 20.0	= 20.0	m
塩ビ製ゲート設置 φ150	2工区	1.0	= 1.0	= 1.0	箇所

## 側溝蓋取替工

U360 L=600	2工区	2工区平面図より	= 1.0	= 1.0	箇所
------------	-----	----------	-------	-------	----

## 排水柵補修工

排水柵補修	1工区	1工区断面図より	= 1.0	= 1.0	箇所
-------	-----	----------	-------	-------	----

## 溜柵補修工

溜柵補修	1工区	1工区断面図より	= 1.0	= 1.0	式
------	-----	----------	-------	-------	---

## 法面整形工

法面整形	3・5工区	3工区 5工区 400.0 × 20.0	合計 = 420.0	= 420.0	m <sup>3</sup>
法面整形	3工区	2.0 × 200.0	= 400.0	= 400.0	m <sup>2</sup>
法面整形 張りコンクリート 土のう設置含	5工区	2.0 × 10.0	= 20.0	= 20.0	m <sup>2</sup>

## 管理道整備工

管理道整備	4工区	4工区平面図より	合計 = 40.0	= 40.0	m
-------	-----	----------	--------------	--------	---

## 用水路補修工

U450 L=600	6工区	6工区平面図より	合計 = 2.0	= 2.0	m
アングル取付工	6工区	6工区平面図より	= 1.0	= 1.0	箇所

## 処理工

残土処分	1・3工区	1工区 3工区 1.1 + 21.0	= 22.1	= 22.0	m <sup>3</sup>
塵芥処理	3工区		= 1.0	= 1.0	式



## 位置図

1 工区

## 2 工区

### 3 工区

5工区

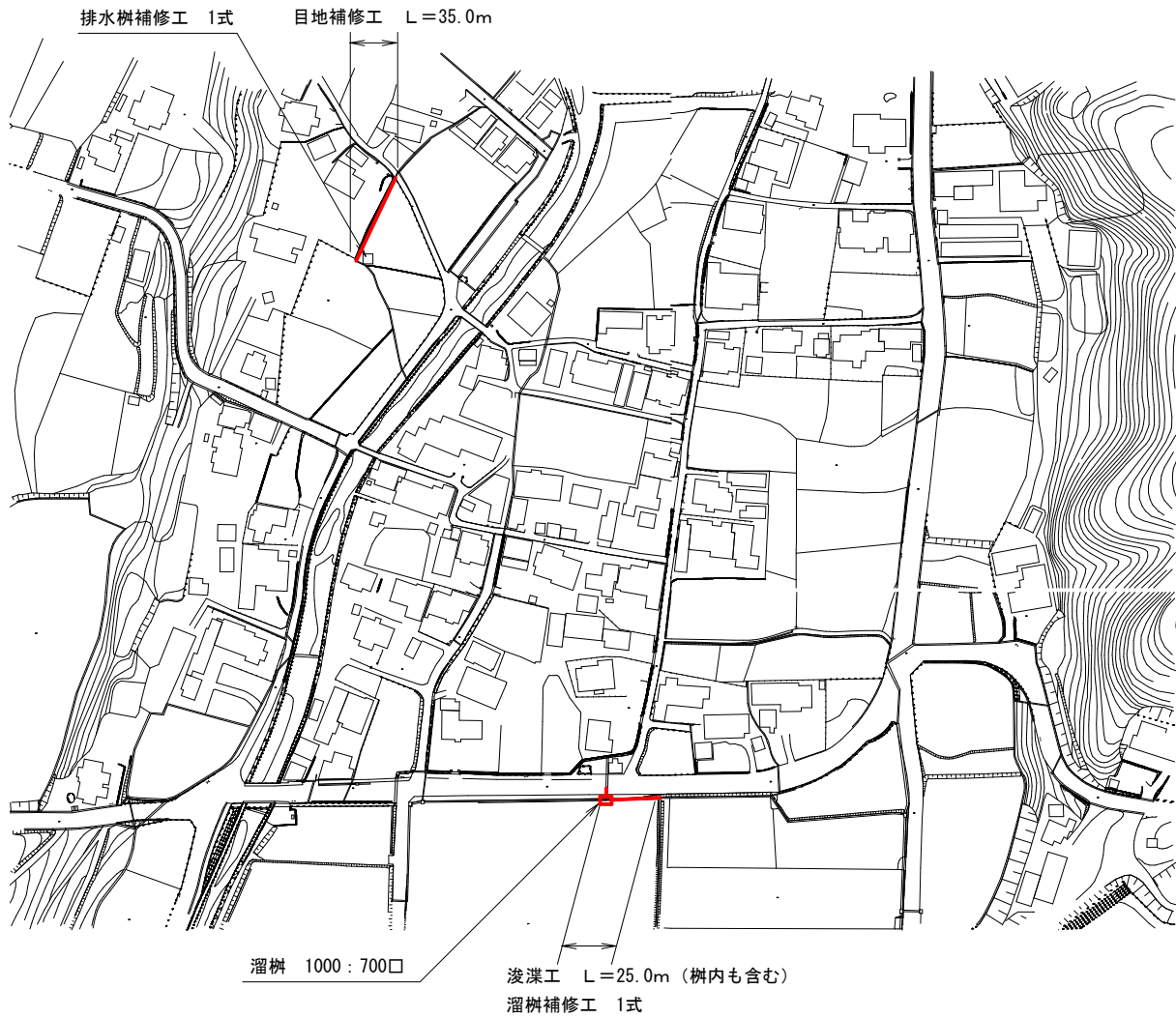
4 工区

## 6 工区

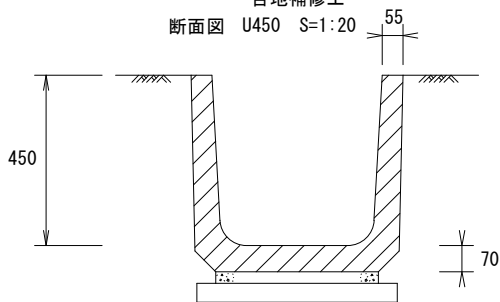


# 位置図

1 工区

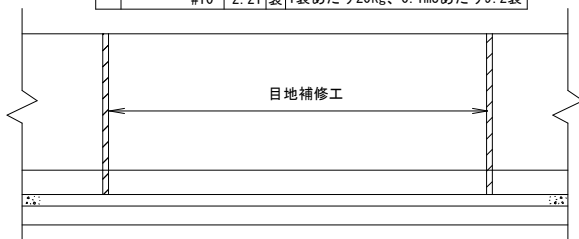


目地補修工  
断面図 U450 S=1:20

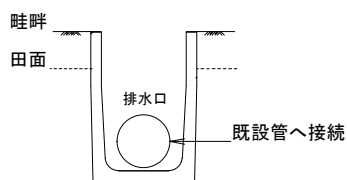


U450型側溝 10mあたり

目地撤去 (m)	23.0	m	0.45×3×17箇所
目地補修 (m <sup>2</sup> )	0.35	m <sup>2</sup>	23.0×0.015
材料 (タフエース)	0.024	m <sup>3</sup>	0.093×0.015×17箇所
エマルジョン	0.43	缶	1缶あたり18kg、0.1m <sup>3</sup> あたり1.8缶
#10	2.21	袋	1袋あたり20kg、0.1m <sup>3</sup> あたり9.2袋

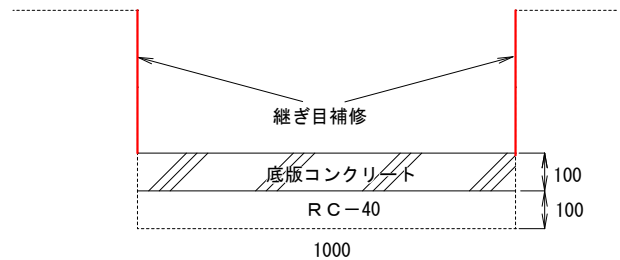


排水樹補修工  
断面図 500 : 200口 S=1:25



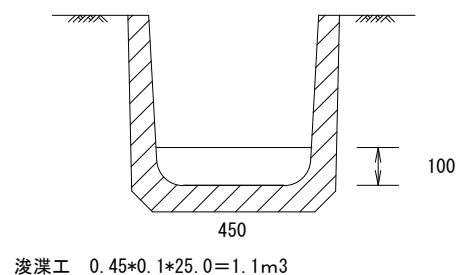
※ 現地と同等品を設置すること

溜樹補修工  
断面図 1000, 700口 S=1:20



※溜樹の底が抜けているため、底版コンクリート打設  
コンクリート 1.0×0.7×0.1=0.07m<sup>3</sup>  
R C-40 1.0×0.7×0.1=0.07m<sup>3</sup>

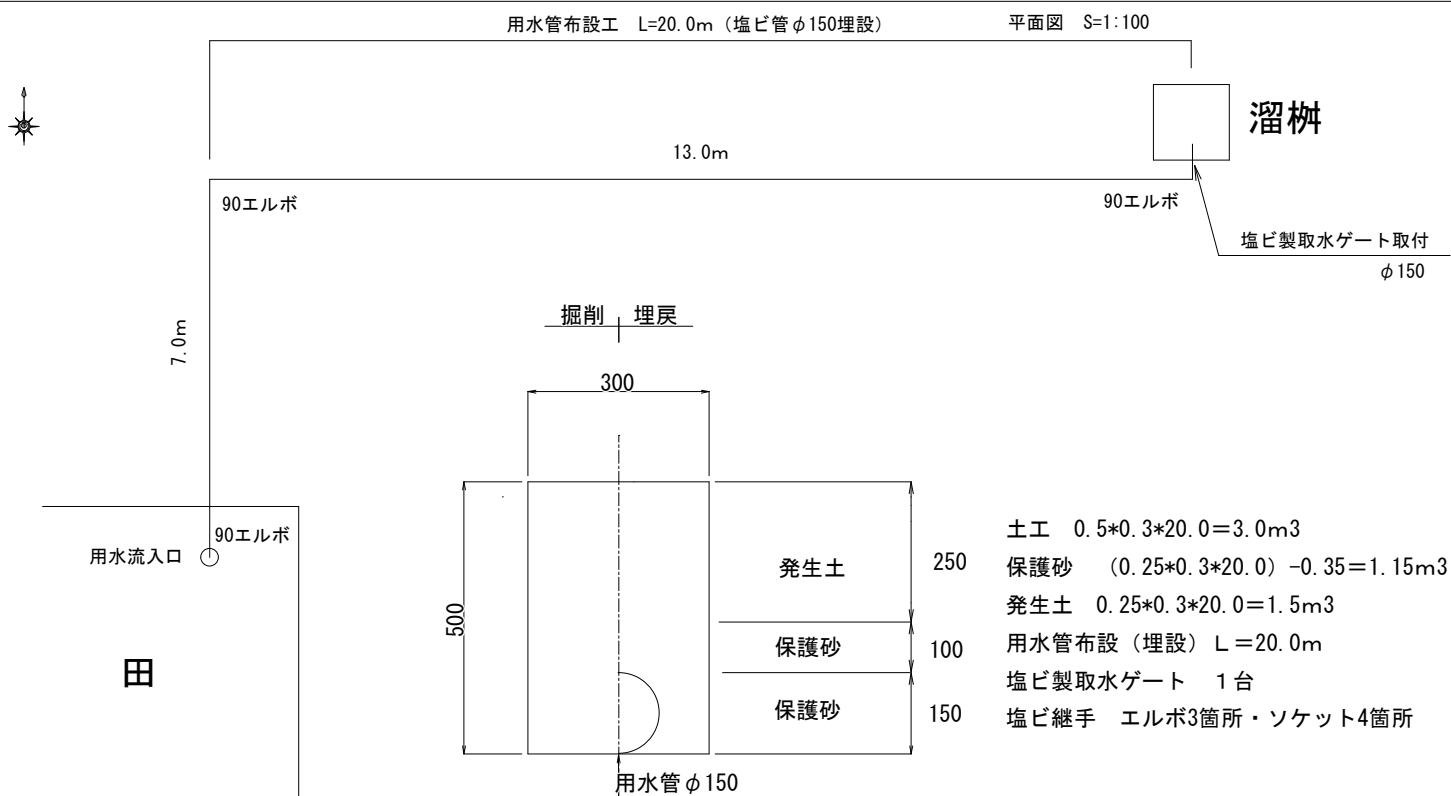
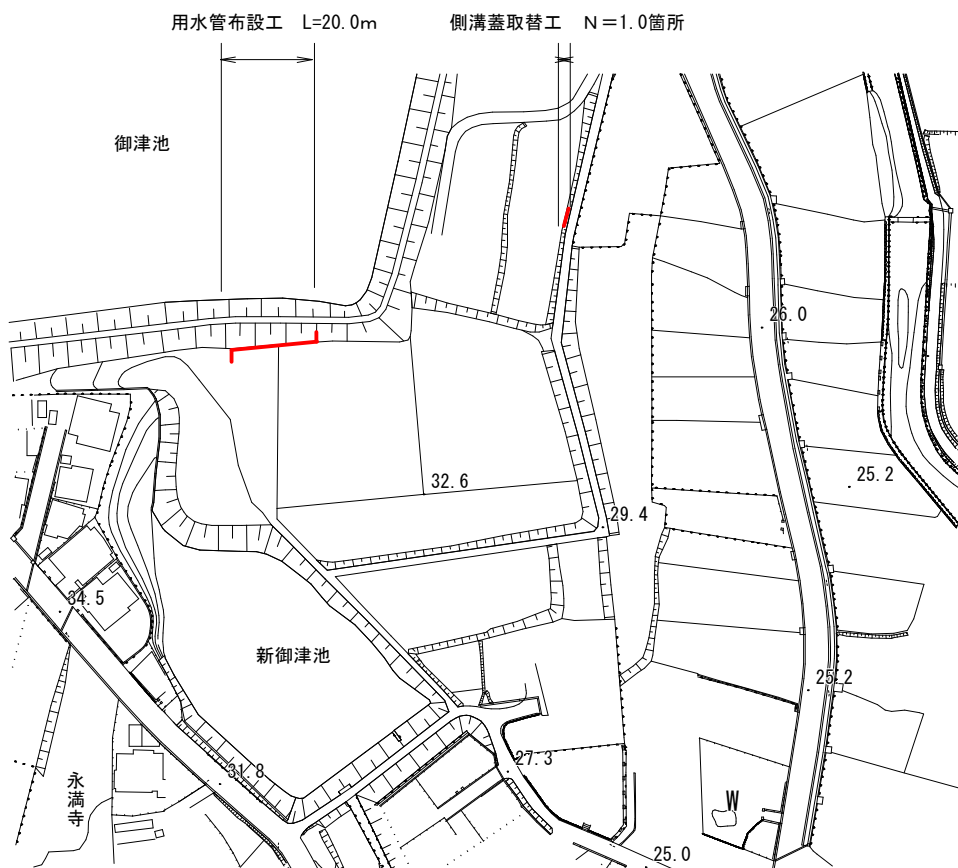
浚渫工  
断面図 U450 S=1:20



浚渫工 0.45×0.1×25.0=1.1m<sup>3</sup>

# 位置図

2工区

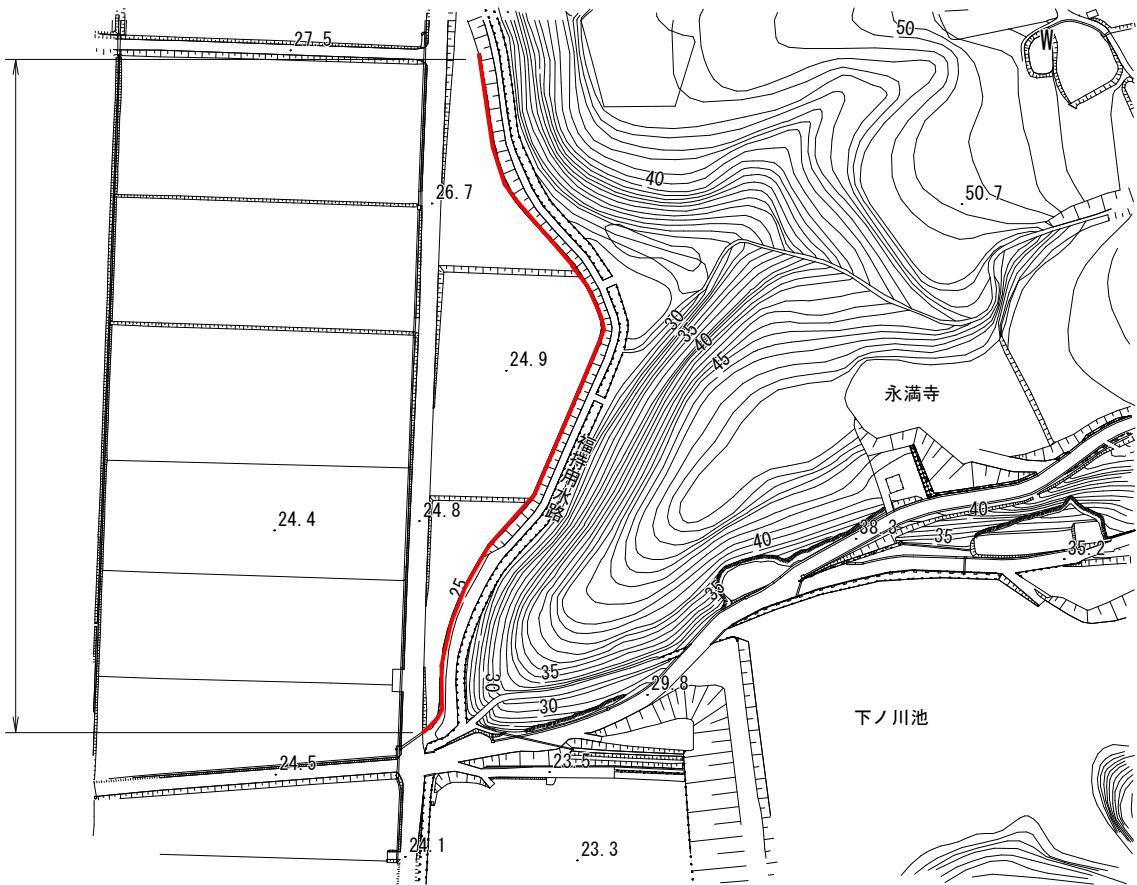


- ※ 埋設ルート、配管勾配、施工については担当者と協議し実施すること。
- ※ 発生土は現地敷均し処分とする。

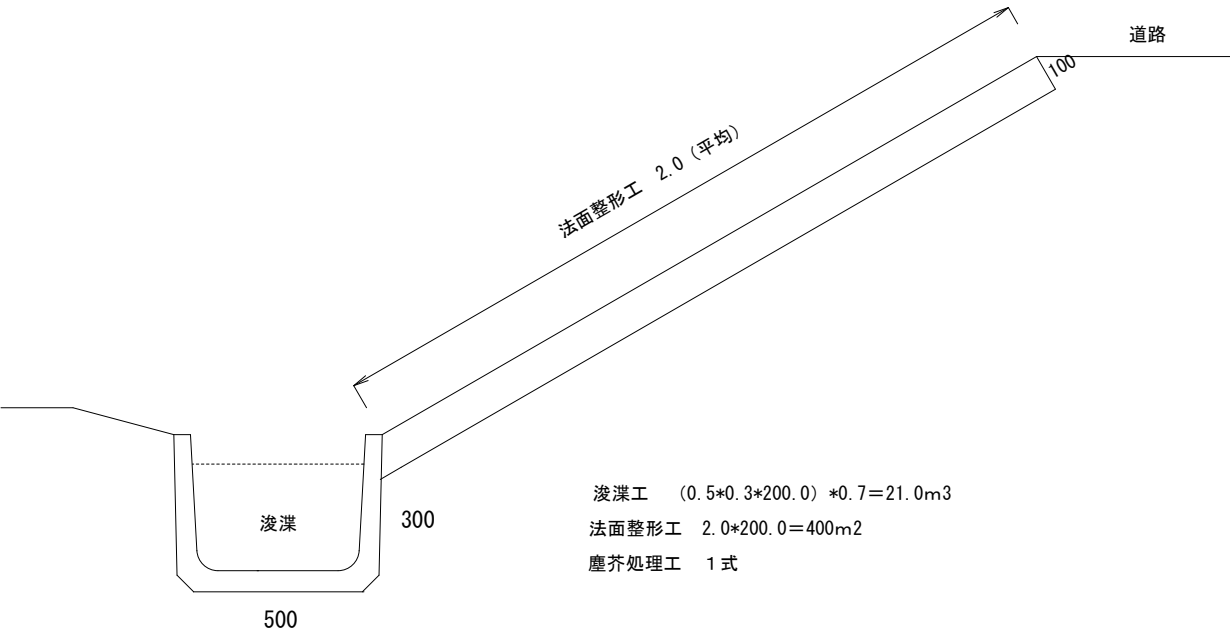
側溝蓋取替工 N=1.0箇所

※側溝蓋取替については360用：1種蓋、1枚とする。

塵芥処理工 1式  
法面整形工・浚渫工 L=200.0m



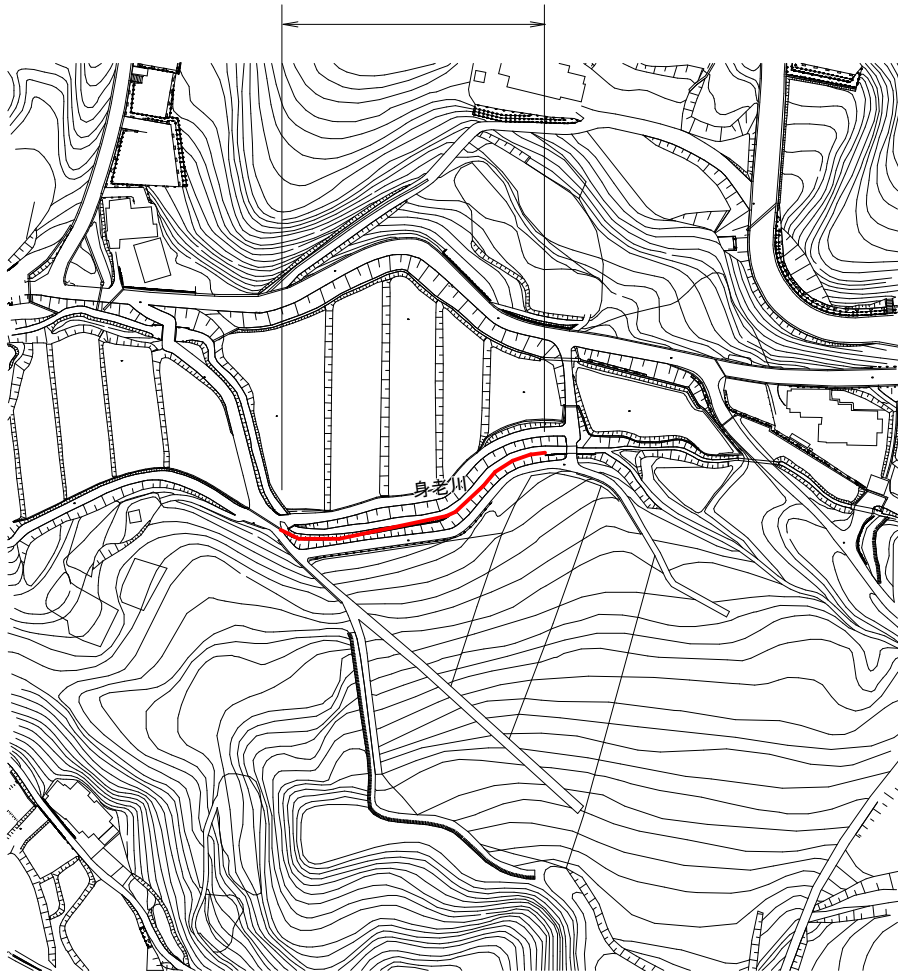
法面整形工 浚渫工  
断面図 S=1:20



# 位置図

## 4工区

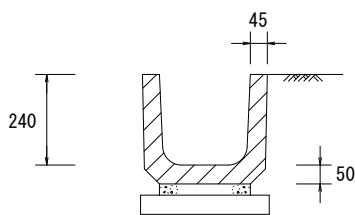
目地補修工・管理道整備工 L=40.0m



目地補修工  
断面図 S=1:20

管理道整備工  
断面図 S=1:20

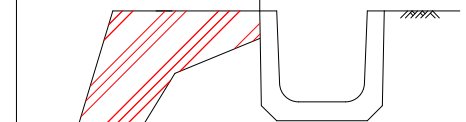
U240 S=1:20



U240型側溝			10mあたり
目地撤去 (m)	12.2	m	0.24×3×17箇所
目地補修 (m <sup>2</sup> )	0.18	m <sup>2</sup>	12.2×0.015
材料(タフエース)	0.010	m <sup>3</sup>	0.038×0.015×17箇所
エマルジョン	0.18	缶	1缶あたり18kg、0.1m <sup>3</sup> あたり1.8缶
#10	0.92	袋	1袋あたり20kg、0.1m <sup>3</sup> あたり9.2袋

管理道 L=1.0 (平均)

(不足土小運搬)



身老川

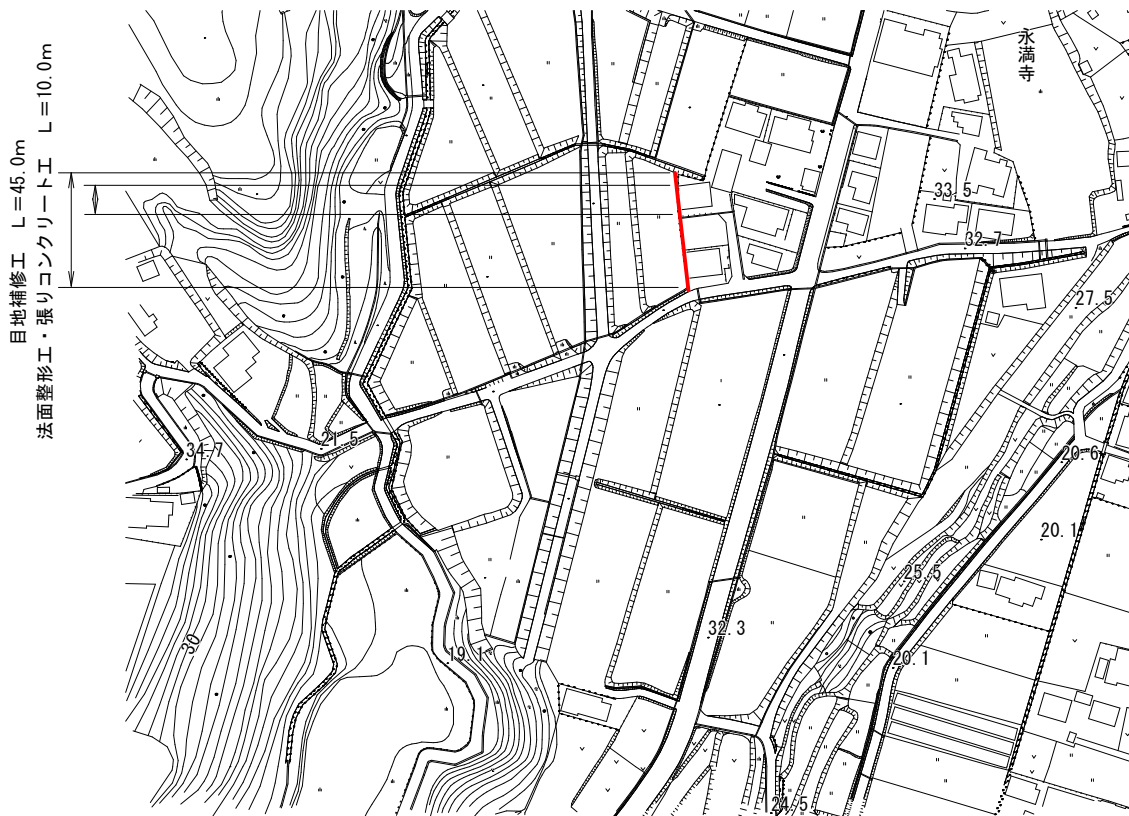
不足土 1.0mあたり0.05m<sup>3</sup>

### 【目地充填工における留意事項】

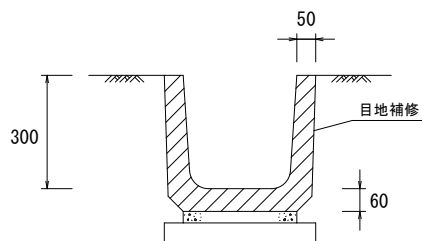
- ・目地材充填箇所に相違がないか、事前に確認し、監督員に事前に報告すること。
- ・目地材に未充填部分が生じないように、慎重に施工すること。
- ・現場配合はメーカーカタログを参照し、所定の性能が確保される条件下で施工を行うこと。
- ・目地材の配合はハンドミキサーを用いて攪拌し、配合すること。

## 位置図

5 工区

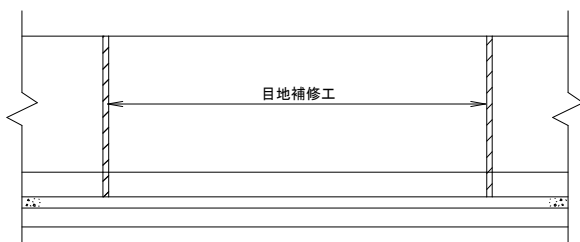


目地補修工  
U300B S=1:20



### U300B型側溝

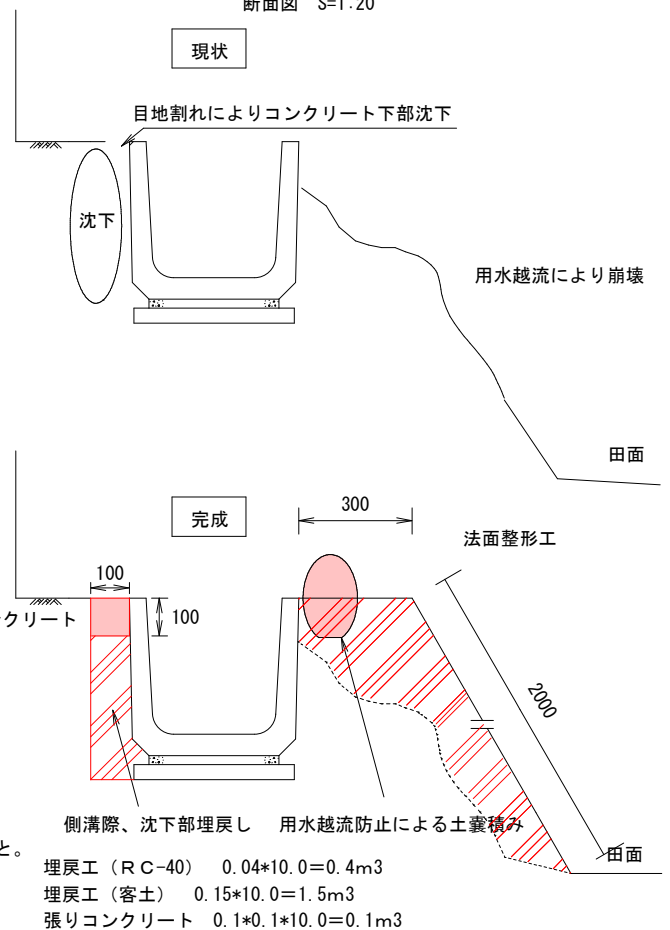
目地撤去 (m)	15.3	m	0.30×3×10箇所
目地補修 (m2)	0.23	m2	15.3×0.015
材料(タフエス)	0.014	m3	0.055×0.015×17箇所
エマルジョン	0.25	缶	1缶あたり18kg、0.1m3あたり1.8缶
#10	1.29	袋	1袋あたり20kg、0.1m3あたり9.2袋



【目地充填工における留意事項】

- ・目地材充填箇所に相違がないか、事前に確認し、監督員に事前に報告すること。
- ・目地材に未充填部分が生じないように、慎重に施工すること。
- ・現場配合はメーカーカタログを参照し、所定の性能が確保される条件下で施工を行うこと。
- ・目地材の配合はハンドミキサーを用いて攪拌し、配合すること。

法面整形工  
断面図 S=1:20

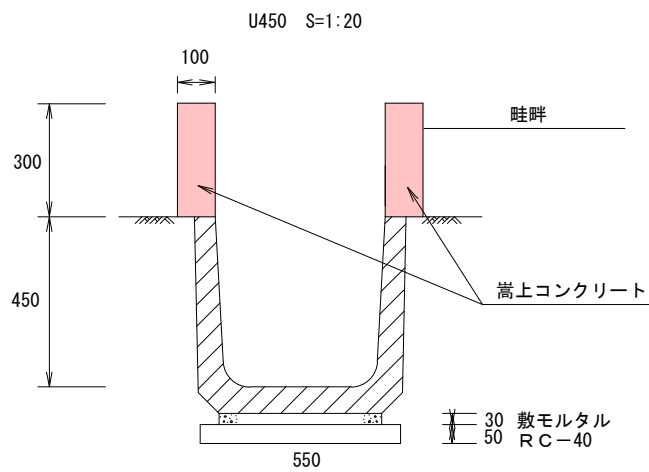




用水路補修工 L=2.0m



用水路補修工  
断面図 S=1:20



嵩上コンクリート 0.3\*0.1\*3.6=0.1m3

